

2014年度上期決算説明会

2014年11月14日
株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ

目次

- I 14年度上期 決算実績
- II 14年度通期 業績予想
- III 市場動向

I 14年度上期 決算実績

14年度上期 決算実績

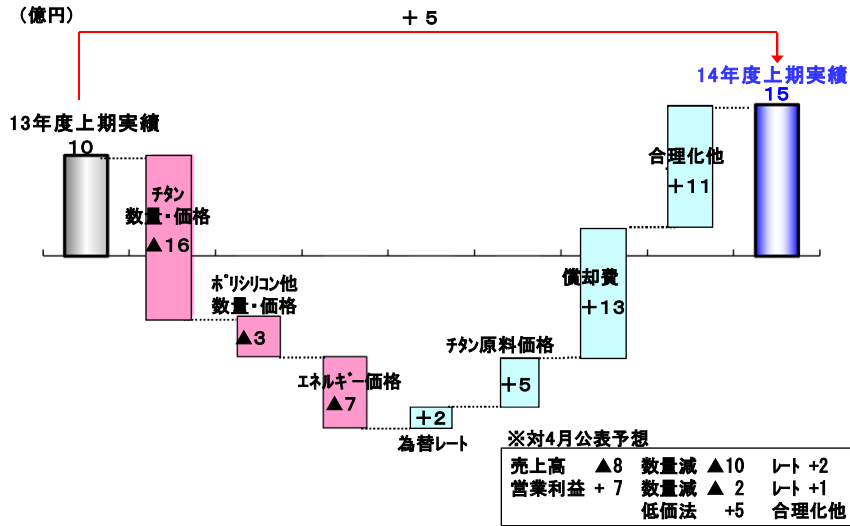
<参考> (億円)

	13年度上期 実績	14年度上期 実績	増減 13上→14上	14年度上期 予想(4/28)	増減 予想→実績
売上高	218	194	▲ 24	202	▲ 8
営業利益	10	15	+ 5	8	+ 7
営業外損益	0	6	+ 6	3	+ 3
経常利益	10	21	+ 11	11	+ 10
特別損益	▲ 37	▲ 2	+ 35	▲ 2	± 0
税引前当期利益	▲ 27	19	+ 46	9	+ 10
当期純利益	▲ 17	14	+ 31	6	+ 8

(為替レート) (98円/\$) (103円/\$) (5円/\$円安) (100円/\$) (3円/\$円安)

(注)	13年度上期	14年度上期	差 異	14年度上期予想	差 異
営業外損益					
助成金等	-	+ 5	+ 5	+ 5	± 0
為替差益	+ 3	+ 2	▲ 1	▲ 1	+ 3
特別損益					
事業再構築費用	▲ 36	-	+ 36	-	-

14年度上期 営業利益 前年同期比差異



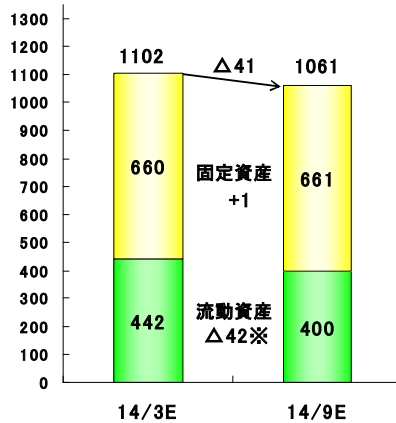
14年度上期 セグメント別業績

(億円)

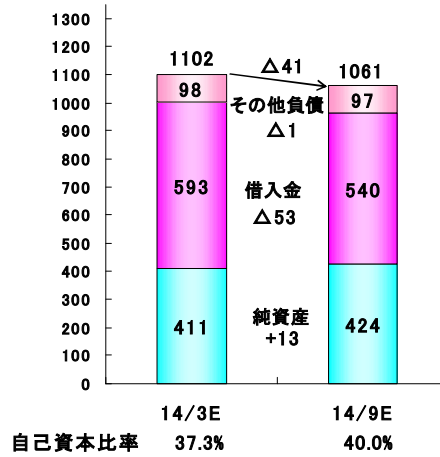
	13年度上期実績		14年度上期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
チタン事業	128	5	113	8	▲15	+3
ホリシロン事業	83	6	71	6	▲12	±0
高機能材料事業	7	▲1	10	1	3	+2
計	218	10	194	15	▲24	+5

B/Sの概要

資産合計(億円)



負債・純資産合計(億円)



※ 売上債権 △18億円
棚卸資産 △13
その他 △11

自己資本比率 37.3% → 40.0%

C/Fの概要

(億円)

	14年度上期実績
税前償却前利益	+ 50
売上債権増減	+ 18
棚卸資産増減	+ 13
その他	+ 2
営業活動によるC/F	+ 83
有形固定資産取得	△ 28
その他	+ 6
投資活動によるC/F	△ 22
借入金増減	△ 53
配当金	△ 2
財務活動によるC/F	△ 55
現金及び現金同等物増減	+ 7

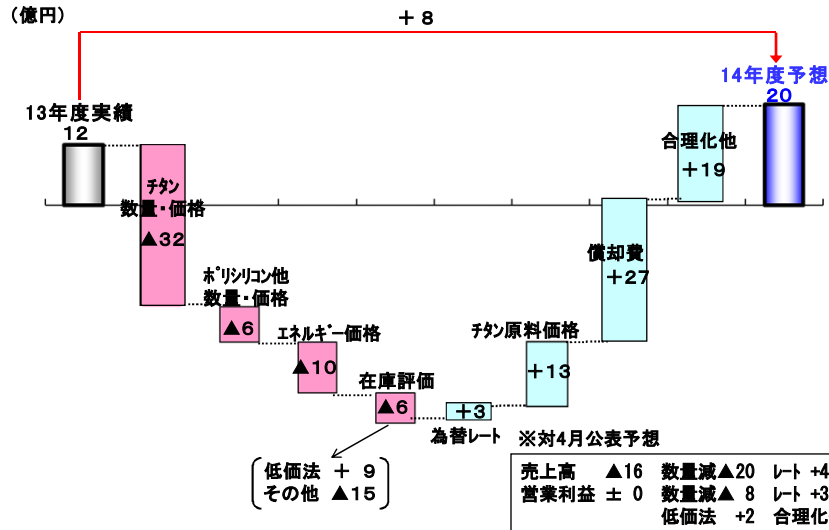
手許資金残高 14/3E 9 → 14/9E 16

Ⅱ 14年度通期 業績予想

14年度通期 業績予想

				＜参考＞ (億円)	
	13年度 実績	14年度 予想 (10/30)	増減 13→14	14年度 当初予想 (4/28)	増減 当初→現状
売上高	429	404	▲ 25	420	▲ 16
営業利益	12	20	+ 8	20	± 0
営業外損益	▲ 9	4	+ 13	2	+ 2
経常利益	3	24	+ 21	22	+ 2
特別損益	▲ 42	9	+ 51	8	+ 1
税引前当期利益	▲ 39	33	+ 72	30	+ 3
当期純利益	▲ 29	24	+ 53	19	+ 5
(為替レート)	(100円/\$)	(103円/\$)	(3円/\$円安)	(100円/\$)	(3円/\$円安)
(注) 営業外損益	13年度	14年度予想	差異	14年度当初予想	差異
助成金等	-	+ 5	+ 5	+ 5	± 0
買付契約評価損	▲ 4	-	+ 4	-	-
特別損益					
事業再構築費用	▲ 40	-	+ 40	-	-
補助金	-	+ 10	+ 10	+ 10	± 0

営業利益 14年度予想と13年度実績との差異

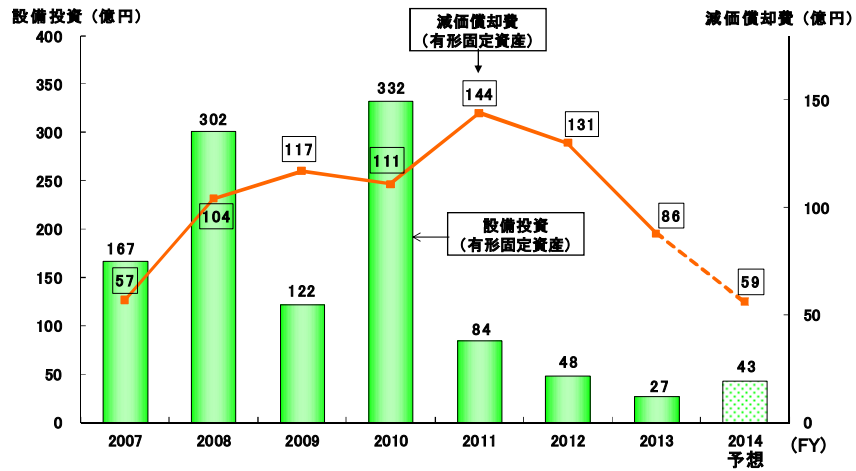


14年度予想 セグメント別業績

(億円)

	13年度実績		14年度予想(10/30)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
チタン事業	248	▲6	234	4	▲14	10
ホリシロン事業	163	19	149	14	▲14	▲5
高機能材料事業	18	▲1	21	2	3	3
計	429	12	404	20	▲25	8

(参考) 設備投資(土地除く)と減価償却費



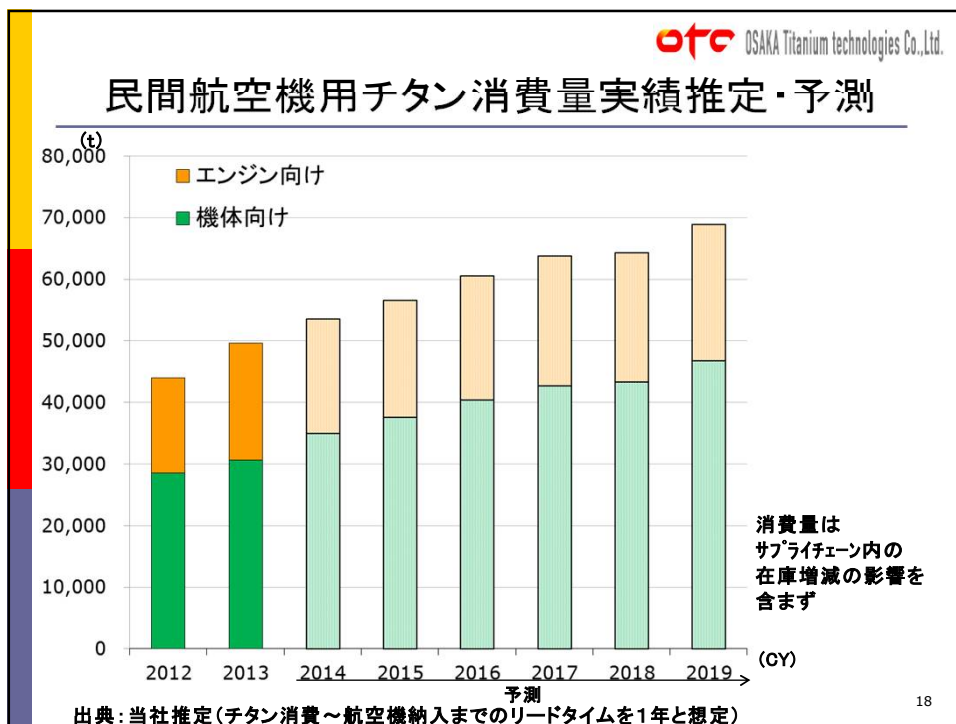
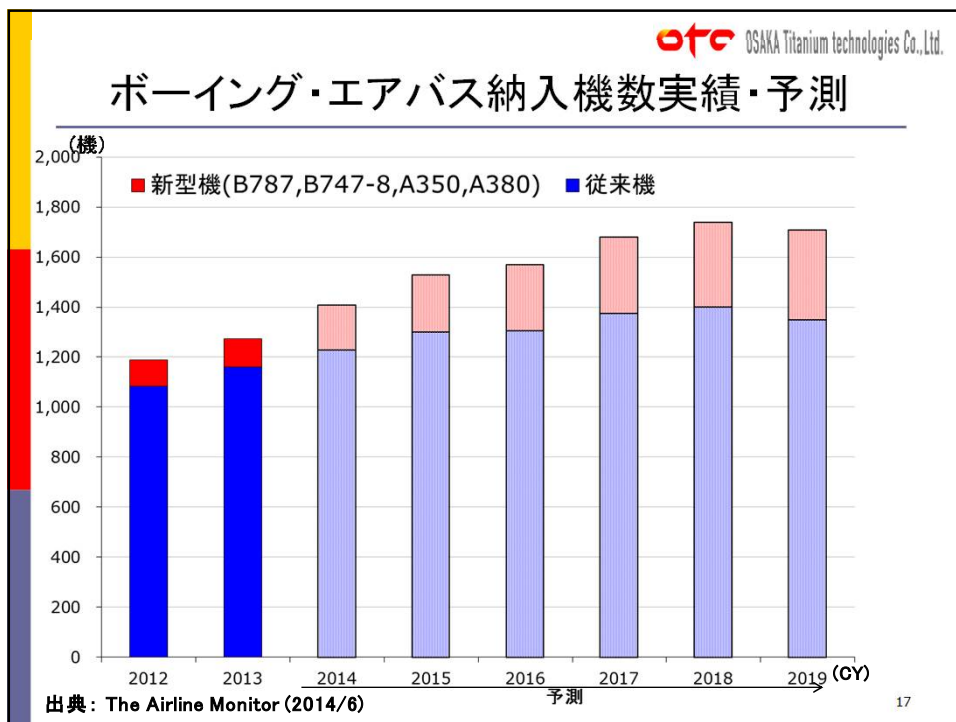
配当予想

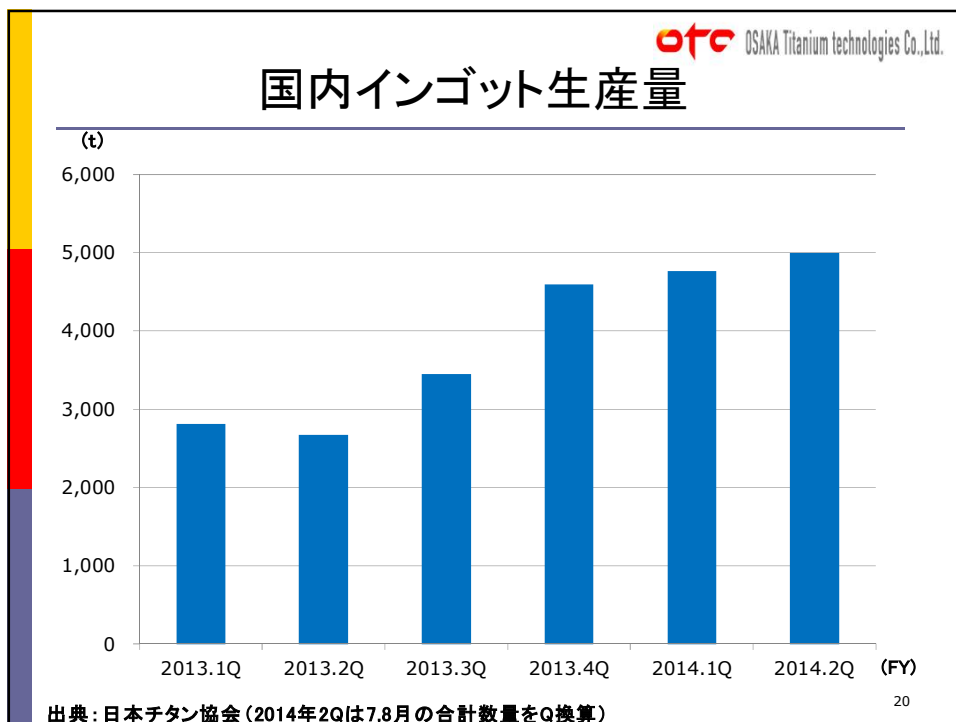
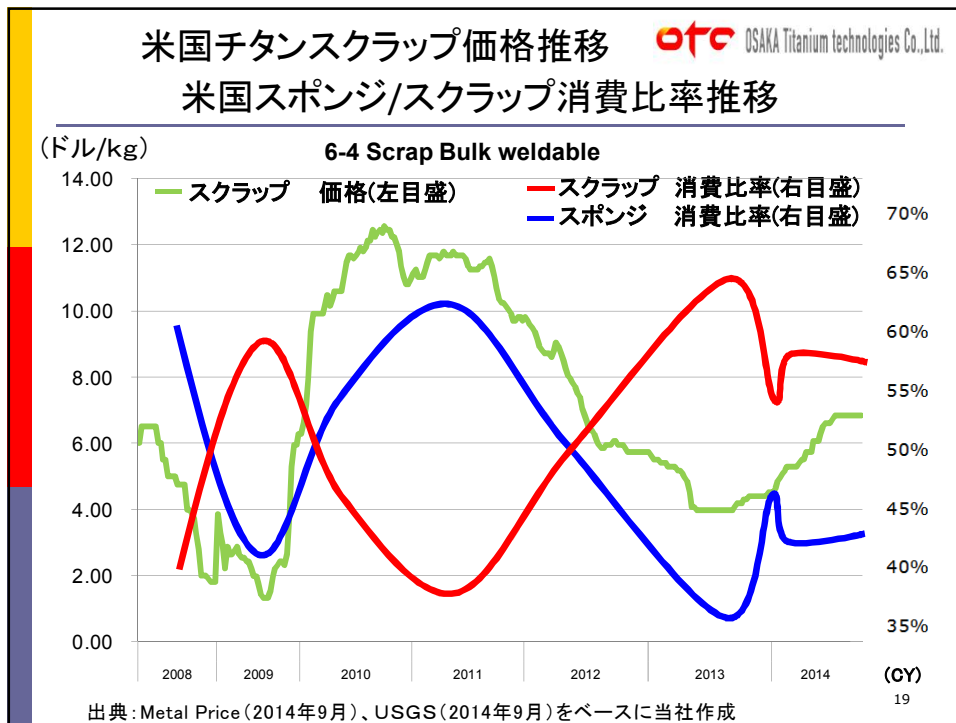
	前期 (14/3月期)実績	当期 (15/3月期)予想
中間	0円/株	5円/株
期末	5円/株	未定
年間	5円/株	未定

Ⅲ 市場動向

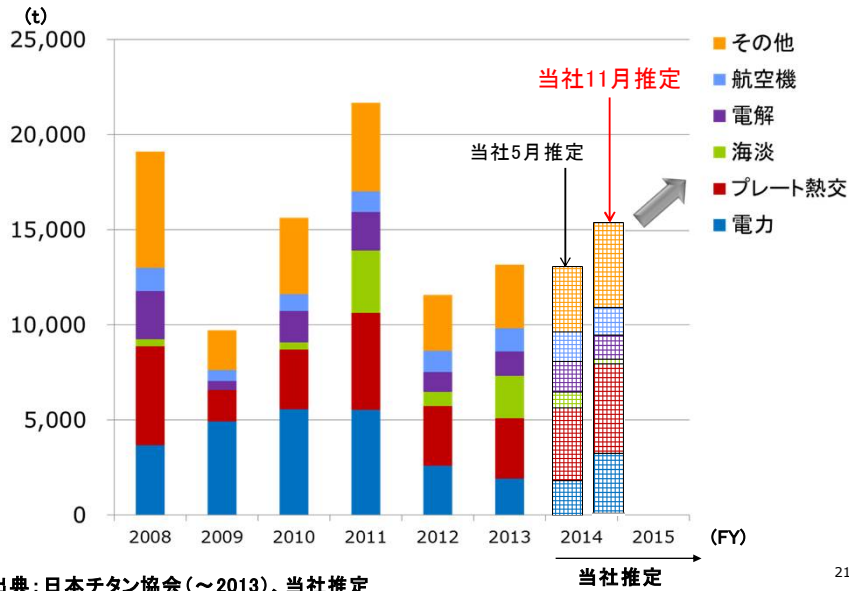
チタン市場動向

	2014年度の見通し	2015年度以降の見通し
航空機用 展伸材市場	<ul style="list-style-type: none"> 航空機製造は堅調 小型機 (A320、B737など) は今後更に増産の計画も浮上 サプライチェーン内在庫調整は年内終了見込み <p>ただし</p> <ul style="list-style-type: none"> スクラップ高配合継続 展伸材メーカーのスポンジ在庫調整は2015年途中まで継続 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">スポンジ需要横ばい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 航空機製造の堅調継続 展伸材需要回復 展伸材メーカーのスポンジ在庫調整は2015年内に完了 スクラップ高配合継続 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">スポンジ需要回復局面へ</p>
一般産業用 展伸材市場	<ul style="list-style-type: none"> 国内展伸材出荷量回復 PHE(プレート熱交換器)、電力向け主体に増加 展伸材メーカーのスポンジ在庫調整はほぼ終了 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">スポンジ需要横ばい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国内展伸材出荷量回復基調継続 海水淡水化案件向けの需要増期待 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">スポンジ需要回復局面へ</p>





国内展伸材出荷実績・見通し



海水淡水化プラント案件

プロジェクト名	国名	チタン需要量 (見込み)	納入時期
Shohiba 2	サウジアラビア	800t	2015年～
Facility D IWPP	カタール	300～3,000t	2015年～
Khirran South	クウェート	1,250t	2016年～
Al Zour North 2	クウェート	1,000t	2016年～
Taweelah - C	UAE	1,000t	2016年～

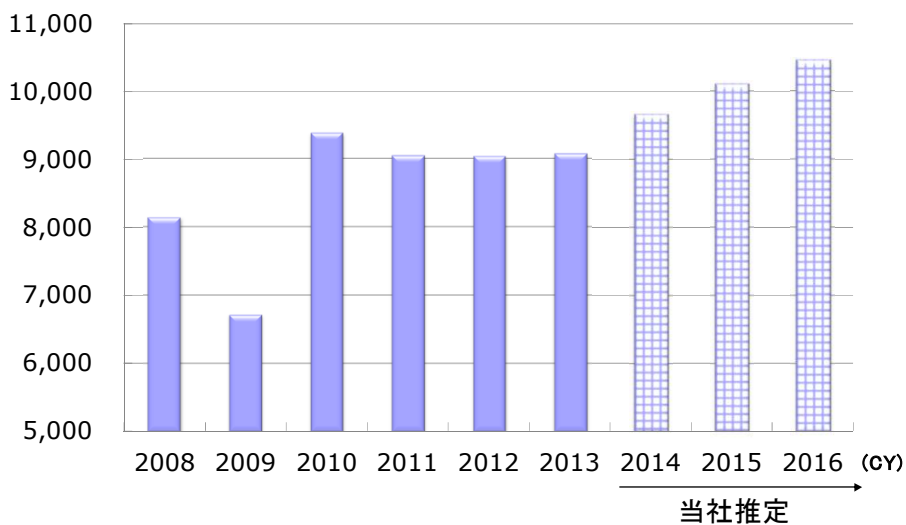
4,350～7,050tの需要見込みあり

ポリシリコンの市場動向

	2014年度の見通し	2015年度以降の見通し
ポリシリコン事業	<p>需給調整継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 半導体需要は回復、シリコンウェーハ各社フル操業 シリコンウェーハメーカーでのポリシリコン在庫調整は継続 	<p>需給調整継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 半導体需要は回復、シリコンウェーハ各社フル操業 シリコンウェーハメーカーでのポリシリコン在庫調整は継続 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>需給ギャップの解消時期は不透明</p>

世界のシリコンウェーハ出荷実績・予測

(百万平方インチ)



出典: SEMI(2014/10)、当社推定

高機能材料の市場動向及び開発動向

	2014年度の見通し	2015年度以降の見通し
高機能材料事業	市場動向 (半導体ターゲット用高純度チタン) 半導体需要回復に合わせて、 高純度チタン需要も増加	市場動向 (半導体ターゲット用高純度チタン) 半導体需要回復基調継続に合わせて、 高純度チタン需要も増加傾向
	(チタン粉末) 液晶用ターゲット需要回復	(チタン粉末) 液晶用ターゲット需要回復基調継続
	開発動向 (電池用負極材 SiO) 採用拡大の取り組みを継続	開発動向 (電池用負極材 SiO) 採用拡大の取り組みを継続
	(チタン粉末) 新規用途開拓への取り組み	(チタン粉末) 新規用途開拓への取り組み継続

25

New Challenge Best Quality

終了

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、不確定要素を含んでおります。このため、様々な要因により、実際に生じる結果が予測内容と異なる可能性があることをご承知下さい。本資料利用によって生じるいかなる結果につきましても、当社が責任を負うものではありません。

26